

チームエッフェガー
宇都木実

レースレポート

Festika Circuit
2011年11月27日

TOYOTA SL-KART MEETING FESTIKA Rd.6

YAMAHA スーパーSS (参加 9 台)



フレーム : TONY RACER EVXX
エンジン : YAMAHA KT100SD
タイヤ : プリヂストン SL07
エンジニア: 加藤 真 (レシガサービス エッフェガー)
メカニック: 立木 保 (チームエッフェガー)

◆ レース結果
T T 1 位 (32.716)
予選 2 位 (32.612)
プレファイナル 1 位 (32.798)
決勝 5 位 (33.119)

◆ 2011 年度
シリーズランキング
1 位 (69.5 ポイント)
シリーズチャンピオン獲得

今大会に向けて

今回は 1 ポイントを取ればチャンピオンが決定するといったレース。しかし前回は自分のレースが出来なかったのも、今回は勝って終わると言う目標に切替え最終戦に挑む。

レースレポート (前日)

2 週間ほど前から調子が落ち始め、前日も迫選手からコンマ 3 ほど水を開けられ、クラス 4 番手の並のタイムに留まる。不調の原因を突き詰めた結果、原因は先日交換したブレーキパッドにありと結論付け当日ブレーキパットの交換・・・

公式練習

タイヤの状態もエンジンも好調、ブレーキの調整に手間取ったが、フレームとのバランスも良く絶好調の予感・・・

タイムトライアル

路面も良好、アウトラップから調子も良く周回毎にトップ争いの展開に・・・最終ラップで再度逆転し P.P ゲット!!

予選ヒート

ローリングが 2 周ほど続きキャブがぐずつき出す。スタートのタイミングは良かったものの見事にかぶり 1 コーナーで 2 番手に落ちる。暫くかぶりが取れずトップと離れる展開に・・・その後調子も戻りトップに肉薄するも 2 番手でゴール

プレファイナル

アウトスタート 1 コーナーで 3 番手に落ちるも続く 2 コーナーで 2 番手に浮上、2 周目にトップの背中を捕えチャンスを伺う。4 周目 1 コーナーでトップに返り咲きそのままトップでゴール。決勝 P.P を獲得

決勝ヒート

路面はかなり冷えてきたがタイヤの感触はまずまず、ランキング 2 位の迫選手は不調の様なので、今日は楽勝と思ったその時、ブレーキに異変が・・・オートクリアランスが機能しなくなるハブニングに見舞われる。スタートするも 2 周目には 5 番手まで順位を落としてしまう。その後スローペースながらブレーキの回復に努め、ノーポイントだけは避け、完走を目指す走りに切替える。確実にチャンピオンを取る事に専念しそのまま 5 位でゴール。

◆ レースを終えて

今回は前回の汚名を晴らすべく勝ちを意識してレースに臨みました。フレームチェンジもうまく行き、かなりの手ごたえを感じていましたが、課題の多いレースとなりました。

◆ 今年を振り返り・・・

今年は昨年逃したシリーズチャンピオンに返り咲くのが第一の目標でした。前半は好調を維持しビレルに乘換えても自分なりには乗りこなす事も出来、3 連勝することが出来ました。前半の貯金がものをいい後半尻つぼみとなりましたが、どうにかチャンピオンに返り咲く事が出来ました。来年は S S のチャンピオンも参戦して来るので、レベルも上がり勝つにはかなり努力が必要になると思いますが、気負わず 1 戦、1 戦、自分の力を出し切れるレースをして行きたいと思います。まずは体力もかなり落ちてるので、体を鍛えなおすことからかな・・・

加藤監督をはじめ・いつも専属メカをしてくれたタモさん・いつも応援に来てくれるチーム員の方々に・・・一年間ありがとうございました。